

より良い保育のために 施設の木造化を考える



森と子ども未来会議は、学童保育の木造化・木質化を、地域の森から、顔の見える関係を大切にして取り組んできました。この取り組みは子どもや保護者、指導員の思いや願いをカタチにできるものと考えています。4年間の活動で徐々に成果が現れ、地域や行政からも注目されるようになり、愛知県から全国に広がりつつあります。

なぜ木造の家や施設が良いのか。体感とともに様々な科学的見地に触れます。子どもの成長と地域の森林の育成や循環利用が、心身の健康やSDGsにどう繋がっていくのかを学びます。熱く気鋭の講師をお招きし、4回にわたる講座で実践的なプラン作りまでを学びます。

プログラムの内容

	日時・場所	内容	講師
1日目	木造学童の体感と体験談 4月10日(土)13時~17時 於：あおぞら学童保育クラブ	木造施設を体感します。建設の経緯、子どもの変化、行政の変化、体験談などから学童木造化の全体像を学びます。	小嶋 哲志 池田 徹弘 村瀬 昇
2日目	伐採・製材体験と林業 5月8日(土)10時~17時 於：千万町楽校と額田の森	人工林での伐採体験、製材所での製材見学。日本の森林と地域林業の現状を学びます。オプション企画で宿泊交流会を開催(愛知県野外教育センター泊)。	唐澤 晋平 白井 仁士 丹羽 健司
3日目	木造施設の性能と地域連携 6月12日(土)13時~17時 於：松栄学童保育クラブ	木造施設の健康環境性能、耐震耐火性能、SDGsとの関連性や木(住)育の重要性、地域連携の大切さを学びます。	山崎 真理子 辻 充孝 岡野 和應
4日目	木造化プラン作り 7月3日(土)10時~17時 於：あおぞら学童保育クラブ	学童保育所を木造化するための実践的プラン作りを学びます。午前中座学、午後からワークショップを行います。	東海林 修 ほか1~3日目の講師

講師の紹介 (名前の前の丸数字は担当回)

①小嶋 哲志



あおぞら学童保育クラブ支援員。
2019年「あおぞら学童保育クラブ木造施設建設プロジェクト」では、クラウドファンディング部門を担当し、多額の支援獲得を成功させる。支援員の立場から学童保育所の木質化促進に携わり「都市の木質化プロジェクト」に参加。現在、学童保育所の木造化に向け活動している。

①村瀬 昇



一般社団法人木の香るあおぞらの会理事・事務局長。「あおぞら学童保育クラブ木造施設建設プロジェクト」では資金調達、広報、一般社団法人設立を担当。あおぞら学童保育クラブの保護者の一人で、本業は公務員。学童施設の木造化を希望する学童保育所から寄せられる法人設立・運営の相談に応じている。

②白井 仁士



株式会社しらい専務取締役。額田木材製材業組合組合長。愛知県岡崎市で柱、梁などに使われる構造材の製材業を営む。2018年の山里学童保育クラブを機にあおぞら学童保育クラブ、松栄学童保育クラブの木造施設の木材製材を担当。自社施設で子どもたちや林業女子の製材体験などを行っている。

③山崎 真理子



名古屋大学大学院生命農学研究科准教授。博士(農学)、博士(工学)。専門は木材工学。木材のマテリアル利用を軸に、木材力学・材料学・環境工学をベースに木材・木造建築に関する研究成果多数。NPO法人都市の木質化プロジェクト理事。山間地と都市部、市民と専門家を繋ぎつつ、都市部での木材利用促進に尽力(ウッドデザイン賞、愛知環境賞銀賞、全国植樹祭ほか)。

③岡野 和應



松栄第一学童保育クラブ2020年度父母会長。出身地の企業に就職したところ、名古屋配属となり家族と一緒に移住し、現在に至る。地縁・血縁がないなか学童保育に助けられる。2019年から2期連続で父母会長。多くの方と父母の協力を得て、学童を木造施設に建て替える決断をする。

①池田 徹弘



名古屋市学童保育連絡協議会会長。一般社団法人木の香るあおぞらの会代表理事。イー・バレイ株式会社代表取締役。本業では技術支援を生業としており、大手製造業に技術と開発リソースを提供している。会社設立・経営と学童保育の父母会長を4期務めた経験から学童保育の運営に対して助言を行っている。

②唐澤 晋平



一般社団法人奏林舎 代表理事。愛知県幸田町出身。専門学校で環境全般を学んだ後、宮城県で環境教育や東日本大震災の復興支援に関わる。2014年に愛知県に戻り、岡崎市額田地域の中山間地に移住。2018年に一般社団法人奏林舎を設立し、林業を通じた持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

②丹羽 健司



足助きこり塾代表。素人が参加できる森づくり「森の健康診断」運動、素人でも山仕事と地域通貨で山村を元気にできる「木の駅プロジェクト」を全国に展開している。名古屋市と岐阜県恵那市で山都二居住生活。著書に「木の駅」「森の健康診断」「素人の山仕事入門」ほか。

③辻 充孝



岐阜県立森林文化アカデミー准教授。大阪芸術大学芸術学部建築学科卒。専門は健康・快適性向上の温熱環境計画、省エネ設計。木造住宅の設計のかたわら、システム化住宅のマニュアル、構造金物の開発などに携わり、社会人学校MOKスクールの立ち上げ、運営に関わる。木材利用コンクール、ウッドデザイン賞など受賞歴多数。

④東海林 修



東海林建築設計事務所代表。名城大学工学部建築学科卒業後、MATO建築設計事務所に入所。1981年に現事務所設立。一級建築士。板倉構法による木造住宅・施設の普及に尽力。名古屋市の山里学童保育クラブ、あおぞら学童保育クラブ、松栄学童保育クラブの設計を担当。一般社団法人日本板倉建築協会理事、伝統木構造の会理事。

- 【対象】 学童保育に携わる方、森林木材建築関係者、行政、議員、その他の方
 【募集期間】 2月10日(水)から3月20日(土) 【定員】 10名
 【参加費】 5,000円(保険料込み、初回に現金) オプション企画宿泊交流会は別途
 4回通しの受講を基本としますが、万一の場合は代理受講も可能です。
 【場所】 あおぞら学童保育クラブ(名古屋市緑区徳重一丁目1108)、
 千万町楽校(旧千万町小学校、岡崎市千万町町字宮西8番地)、
 松栄学童保育クラブ(名古屋市昭和区戸田町2-27)
 【交通手段】 1、3、4日目は原則公共交通機関。2日目は自家用車または名鉄本宿駅で送迎可

【申込方法】 ① WEBフォームか ② 電子メール

① WEBフォーム

下の2次元コードを読み取ってください。



② 電子メール

1~5を記載し、下記メールアドレスへ。

k-suzuki@taiho-gh.com

1. お名前
2. ご所属
3. 連絡先電話番号
4. メールアドレス
5. お申し込みの動機

※申し込み多数の場合は、抽選により参加者を選定します。9月から第2期を開催する予定です。